

すずめ とれんど

結成：昭和63年
受賞歴：大賞(平成5年)、
独眼竜政宗賞(平成11年)、
流し踊り金賞(平成12年)

1988年に「みやぎ“知”のとれんど」(文部省が宮城県社会教育課に委嘱した「男女共同参画型社会」実現のための交流・交換を考えてもらうプログラム)に参加した仲間が「すずめ踊り普及会」の高橋清博さんの呼びかけで集まったのが「すずめトレンド」の始まりでした。



法被は紫色地に祭連名が入り、背中には「仙臺 雀」のロゴが描かれています。女性が浴衣を羽織った年もありました。女性の浴衣については、より軽快に舞うすずめをイメージ。法被の色は、重厚感のある色ながら、ダイナミックな演舞をする「ギャップ」をイメージして選ばれました。



扇子は表が水色、裏がピンクです。以前は黄緑をメインに、黄色やオレンジを組み合わせたものも使用していました。現在使用しているものは「若返り」や「爽やかさ」をアピールした色となっています。



「すずめ踊りを通して交流の輪を広げよう」というコンセプトで活動している当祭連。いつの間にか結成して30年が経ちました。子すずめ祭連「プチとれんど」と一緒に、これまでの「伝統」を継承しつつ、色々「アップデート」しながら活動していきたいと思います。

